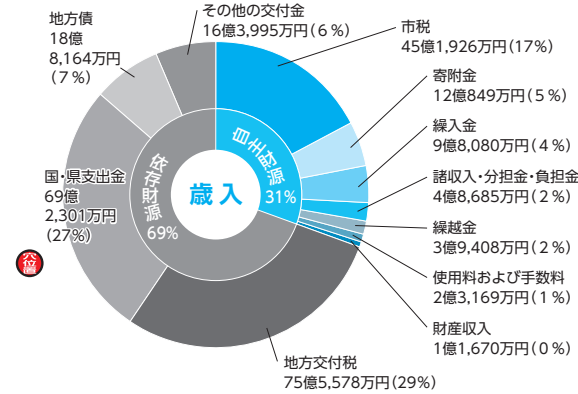


令和6年度 小城市の家計簿 決算報告

令和6年度の小城市の決算がまとまりました。普通会計の決算をもとに家計に例えてみましたので一緒に見ていきましょう。

普通会計 歳入の内訳

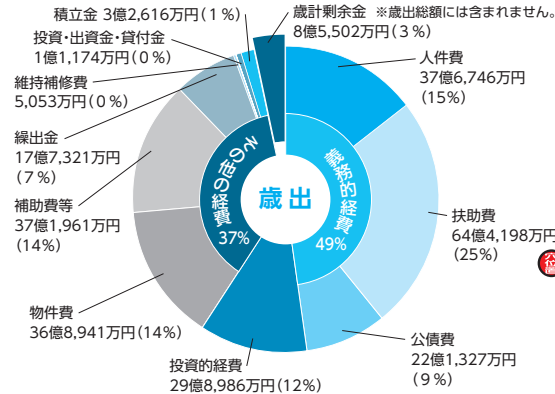
歳入総額 259億3,825万円



※端数については、四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

普通会計 歳出の内訳

歳出総額 250億8,323万円



※端数については、四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

小城家の家計簿

市の普通会計を家計に置き換えました。1カ月分の家計の収入と支出を、市民1人当たりの金額に置き換えると次のようになります。

令和7年3月31日 住民基本台帳人口 43,962人

小城家の1カ月の収入の内訳

	収入 (円)	増減率 (前年比)
給料 (市税)	102,799	1.4% ↓
医療費などへの助成金 (国・県支出金など)	366,652	9.3% ↑
雑収入 (諸収入・寄附金など)	46,489	0.1% ↑
貯金の取崩し (繰入金)	22,310	34.1% ↑
前月からの繰越金 (繰越金)	8,964	1.4% ↑
新たな借入金 (地方債)	42,802	6.3% ↓
合計	590,016	

を翌月へ繰り越します。

市の令和6年度普通会計決算額を1か月の家計に例えてみると、小城家の1か月の収入は59万円となっています。

収入では、主に、医療費などへの助成金 (国・県支出金など) が増えています。これは、市内私立保育所の改築費用に対する就学前教育・保育施設整備交付金や個人住民税における定額減税の実施に伴い、減収を補填する定額減税減収補填特別交付金などが増えたことによる増額です。

また、貯金の取崩し (繰入金) が増えています。これは、支出に伴う財源不足を補うためです。支出では、医療費、教育費など (扶助費) の支出が増えている状況です。



用語説明 (歳入)

市 税	市民税や固定資産税などに納められたお金
繰入金・分担金・負担金	貸付金の返済や特定の事業に対し利益を得た者からもらうお金
繰越金	前年度から繰り越されたお金
使用料・手数料	公営住宅の家賃や住民票の発行などで納められたお金
寄附金	ふるさと応援寄附金などの寄附金
財産収入	市が持っている建物や土地の貸付などで入ったお金
繰入金	基金などから繰り入れたお金
地方交付税	国税 (所得税、法人税、酒税) の一部から一定の割合の金額を配分されたお金
地方債	資金調達のために借りた借金
国・県支出金	市が行う特定の事業に対して国や県から交付されたお金
自主財源	市が自ら調達できる収入
依存財源	国や県の決定や割り当てによって交付される収入。市独自で収入額を決められない
人件費	職員給与や議員報酬などのお金
扶助費	生活保護費、児童手当、障がい者への支援に使われたお金
公債費	これまで借り入れたお金の返済に使われたお金
投資的経費	建物や道路などのインフラ整備に使うお金
物件費	業務を行う上で必要な事務費
補助費等	各団体などへの補助金や負担金
繰入金	特別会計などに繰り出すお金
維持補修費	市が管理する施設や道路を維持・補修するお金
投資・出資金・貸付金	市が財産を有効に運用するためのお金
積立金	基金へ積み立てたお金
歳計剰余金	歳入総額から歳出総額を差し引いたお金 ※歳出総額には、歳計剰余金は入りません

各会計の決算収支

令和6年度会計別決算

会計名	歳入決算額 (収入)	歳出決算額 (支出)
普通会計		
一般会計	259億3,825万円	250億8,323万円
特別会計		
国民健康保険特別会計	52億952万円	50億6,910万円
後期高齢者医療特別会計	7億2,327万円	7億788万円
小計	59億3,279万円	57億7,698万円
合 計	318億7,104万円	308億6,021万円
公営企業会計		
病院事業会計	10億5,985万円	14億570万円
水道事業会計	5億2,321万円	6億9,510万円
下水道事業会計	26億8,489万円	31億1,913万円

(収入) - (支出) の19,450円

指標からみる財政状況

	令和6年度	令和5年度
経常収支比率 財政の弾力性 (ゆとり)の指標	94.9%	95.7%
実質公債費比率 借金返済の割合	9.9%	9.3%
財政力指数 自前の財源の割合 (3カ年平均)	0.42	0.41
市税徴収率 (現年課税分)	99.2%	99.2%

【経常収支比率】

使途を制限されない経常的な収入（地方税、普通交付税などの毎年収入となる性質のもの）に対する経常的な支出（人件費、公債費、扶助費などの毎年経常的に支出されるもの）の割合です。この割合が低いほど自由に使えるお金があることになります。

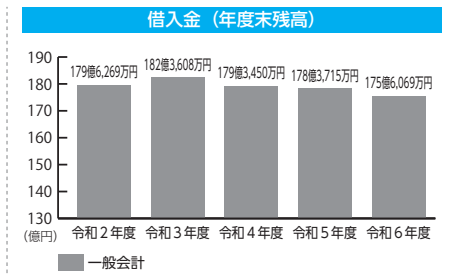
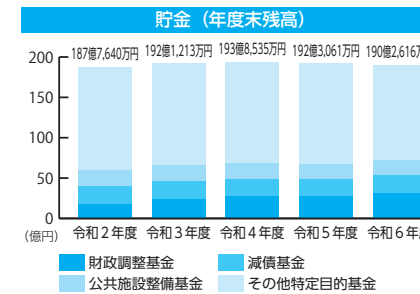
【実質公債費比率】

借入金（地方債）の返済額およびこれに準ずる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示すもので、一般会計などが負担する元利償還金などの標準財政規模に対する比率です。

【財政力指数】

地方公共団体の財政力を示す指標です。財政力指数が高いほど自主財源（地方公共団体が自ら調達できる財源）の割合が高く、財政力が強いことになります。これが1を超えると、普通交付税は交付されなくなります。

小城市の貯金と借入金



医療費や教育費（扶助費）が増え続けることや、学校施設などの建物や道路の整備などを計画していることから、市の貯金は今後減少していくことになります。

令和6年度に実施した主な事業を紹介します

環境課

廃棄物中継センター施設整備事業 3,385万2千円

市内で排出される廃棄物の中継地としての機能を維持し、施設の老朽化や安全性の低下を解消するため、令和6年度は、廃棄物中継センター整備の基本計画策定などを行いました。

こども家庭課

子どもの医療費助成事業 2億591万4千円

子どもの疾病の早期発見と治療を促進し、保健の向上と福祉の増進を図ることを目的として、子どもの医療費を助成しました。また、令和7年度からの対象年齢拡充に向けたシステム改修なども行いました。

国の交付金を活用した主な物価高騰対策

商工観光課

第6弾小売店舗等復興応援券事業 8,791万4千円

コロナ禍における原油価格や物価の高騰などの影響を受けている市民および事業者を支援するため、市民一人当たり2千円の小売店舗等復興応援券を発行し交付しました。

建設課

牛津川遊水地事業 3億6,413万円

国が実施する牛津川遊水地整備にあたり、家屋移転が必要となることから、集団移転の代替地の整備を行うため、令和6年度は、用地取得や測量、代替地の造成工事を行いました。

保育幼稚園課

保育所等整備補助事業 5億9,324万2千円

市内私立保育所などの施設整備や、保育士の負担軽減による保育体制の強化を行い、安全かつ安心な保育の環境を確保するため、令和6年度は、私立保育所などの改築費用を補助しました。

健康福祉課

定額減税補足給付金（調整給付）支給事業 4億150万9千円

物価高騰による市民の負担増を踏まえ、令和6年度に所得税、個人住民税の定額減税をしきれない見込まれる人を対象とした調整給付金を支給しました。

健康福祉課

新公立病院建設事業 1億8,049万9千円

小城市市民病院と多久市立病院を統合し、両市の地域医療を担う新病院を整備するため、令和6年度は、新公立病院建設工事を行いました。

総務課（旧：国民スポーツ大会推進課）

2024年国民スポーツ佐賀大会等開催事業 1億6,623万7千円

SAGA2024国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を開催し、市内ではバレーボールやハンドボール、ソフトボール競技を行いました。

防災対策課

消防施設・設備整備事業 8,134万円

災害から市民の生命、身体、財産を守るため、令和6年度は、三日月地区に消防団の拠点となる消防格納庫を整備しました。